

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-100	高等学校	地理歴史科	地理総合	全学年
番号・略称	記号・番号	教科書名		
46 帝国	地総 046-901	高等学校 新地理総合		

## 1. 編修の趣旨及び留意点

グローバル化や情報化、少子高齢化、多発する自然災害など、変化が大きい現代世界の姿を、地理的な視点で多面的・多角的にとらえ、平和で民主的な国家及び社会を形成するために必要な資質・能力を育成できる教科書を目指して編修した。特に系統地理的な視点から現代世界における生活文化を学習できるよう心がけ、地理的技能を身につけたり、「地理的な見方・考え方」を働かせたりすることができるよう、多様な資料と充実した記述を用意した。また、主体的に課題を解決する態度を身につけられるよう留意した。

## 2. 編修の基本方針

●教育基本法第2条に示される教育の目標を達成するために、以下のような基本方針に基づいて編修した。

### (1)現代世界が抱える諸課題の解決に向けて主体的に取り組む態度を養う教科書

- ・ 2部1章では、世界各地の多様な生活文化が生まれた背景やその変容について、地理的環境との関係を理解できるよう、構成を工夫した。その上で、2部2章では、現代世界が抱える地球的課題への理解を深め、解決に寄与する態度を身につけられるよう、発展途上国・先進国・日本の事例を通して学習できるようにした。
- ・ 我が国が抱える諸課題への理解を深め、解決に寄与する態度を身につけられるよう、地球的課題と防災の単元では、日本の事例を意識的に取り上げた。
- ・ 生徒が課題に対する解決策を主体的に考え、実践できる態度を養うことができるよう、持続可能な社会づくりに向けて他者と協働しながら諸課題に向き合う特設「**アクティブ 持続可能な社会に向けて**」を設けた。

### (2)地理的な見方・考え方を働かせながら思考力・判断力・表現力を養う教科書

- ・ 地理的な見方・考え方を働かせながら学習できるよう、学習を見通す「**節の主題**」や「**学習課題**」、学習内容を振り返る「**節の振り返り**」「**確認**」「**説明**」を随所に設けた。
- ・ 写真や図表から地理的な特色をとらえる力を養うことができるよう、導入資料の読み解きを促す「**Q**」や、写真や図表の読み解きを促す「**読み解き**」を随所に設けた。
- ・ 地理学習を深めるために必要となる技能を身につけられるよう、特設「**SKILL**」を適宜設けた。
- ・ 地図帳の活用を通して、思考力・判断力を養うことができるよう、「**地図帳活用**」を随所に設けた。

## 3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<b>1部 地図でとらえる現代世界</b> 1章 地図と地理情報システム 1節 地球上の位置と時差 2節 地図の役割と種類	○現代世界における地図やGISの活用について知識と教養を幅広く身につけられるよう、丁寧な記述を心がけ、資料を豊富に掲載した(第1号)。 ○地図やGISを活用する能力を伸ばし、創造性を培えるよう、実際の地図やGISの技術に触れられるデジタル教材をQRコンテンツとして用意した(第2号)。	p.10-13、 20-21  p.10、22-25

<p>2章 結びつきを深める現代世界</p> <p>1節 現代世界の国家と領域</p> <p>2節 グローバル化する世界</p>	<p>○我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう、日本の領土について、図や写真を用いて丁寧に解説した（第5号）。</p> <p>○他地域との結びつきや地域的な枠組みについて、知識と教養を幅広く身につけられるよう、多様な地図からの読み取りをもとに学習できるようにした（第1号）。</p>	<p>p.28-31</p> <p>p.28-42</p>
<p><b>2部 国際理解と国際協力</b></p> <p>1章 生活文化の多様性と国際理解</p> <p>序説 生活文化の多様性</p> <p>1節 世界の地形と人々の生活</p> <p>2節 世界の気候と人々の生活</p> <p>選択事例 自然①・②</p> <p>3節 世界の言語・宗教と人々の生活</p> <p>選択事例 宗教①・②</p> <p>4節 歴史的背景と人々の生活</p> <p>選択事例 歴史①～③</p> <p>5節 世界の産業と人々の生活</p> <p>選択事例 産業①～③</p>	<p>○世界各地の多様な生活文化についての知識と教養を幅広く身につけられるよう、写真や模式図、図表を用いて視覚的に理解できる構成にした。また、さまざまな観点から生活文化をとらえられるよう、選択事例としてさまざまな地域を扱った（第1号）。</p> <p>○生命を尊び、自然を大切にする態度を養うことができるよう、1～2節では、人間と自然の関わりについて具体的な事例を通して学習できるようにした（第4号）。</p> <p>○他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう、世界各地の多様な生活文化への理解が深まる本文記述とし、資料性の高い写真を掲載した（第5号）。</p>	<p>p.43-134</p> <p>p.46-83</p> <p>p.76-83、88-95、98-109、116-133</p>
<p>2章 地球的課題と国際協力</p> <p>序説 地球的課題と持続可能な社会</p> <p>1節 地球環境問題</p> <p>2節 資源・エネルギー問題</p> <p>3節 人口問題</p> <p>4節 食料問題</p> <p>5節 都市・居住問題</p> <p>6節 地球的課題の解決に向けて</p>	<p>○先進国と発展途上国の差異などについて知識と教養を幅広く身につけられるよう、地図やグラフを豊富に掲載した（第1号）。</p> <p>○地球的課題についての知識と教養を幅広く身につけられるよう、テーマを掘り下げて解説した特設「持続可能な社会に向けて」を設けた（第1号）。</p> <p>○自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう、地球的課題と国際協力の現状について、発展途上国・先進国・日本といった、立場や環境の異なる事例から学習できるように工夫した（第3号）。</p> <p>○よりよい社会の形成に主体的に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう、持続可能な社会づくりに向けて他者と協働しながら諸課題に向き合う特設「アクティブ 持続可能な社会に向けて」を設けた（第3号）。</p> <p>○生命を尊び、自然を大切にする態度を養うことができるよう、世界各地でみられる環境問題への取り組みを丁寧に記述した（第4号）。</p> <p>○我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう、今日の日本が抱えている諸課題を具体的に記述し、当事者として課題に向き合えるようにした（第5号）。</p>	<p>p.136-182</p> <p>p.145、155、165、182</p> <p>p.140-144、152-154、161-164、168-169、174-177</p> <p>p.146-147、156-157、170-171、180-181</p> <p>p.138-147</p> <p>p.144、154、164、177</p>

<p><b>3部 持続可能な地域づくりと私たち</b></p> <p>1章 自然環境と防災</p> <p>序説 人々の生活と自然災害</p> <p>1節 日本の自然環境</p> <p>2節 地震・津波と防災</p> <p>3節 火山災害と防災</p> <p>4節 気象災害と防災</p> <p>5節 自然災害への備えと復旧・復興</p>	<p>○自然災害への対策が地域で異なることを理解し、防災・減災に必要な知識と教養を幅広く身につけられるよう、各地の具体的な事例を数多く取り上げた（第1号）。</p> <p>○自他の敬愛と協力を重んずるとともに、よりよい社会の形成に主体的に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう、防災・減災には他者との協力や救助体制の整備などが大切であることを理解できるよう記述した。（第3号）</p> <p>○生命を尊び、自然を大切にすることを養うことができるよう、自然現象を生かした人々の暮らしがわかる記述と写真を扱った（第4号）。</p>	<p>p.184-216</p> <p>p.184-185、190-216</p> <p>p.186-189、196-199、204-205</p>
<p>2章 生活圏の調査と地域の展望</p> <p>1節 生活圏の調査と地域の展望</p>	<p>○自ら発見した疑問や課題について、多面的・多角的な視野から考察し、真理を求める態度を養うことができるよう、調査テーマの設定方法や現地調査の手順、発表方法について具体的に示した（第1号）。</p> <p>○自主及び自律の精神を養うことができるよう、自分の考えをまとめたり、発表したりすることで、思考力・判断力・表現力を身につけられるよう工夫した（第2号）。</p> <p>○公共の精神に基づき、持続可能な社会の形成に主体的に参画する態度を養うことができるよう、身近な地域にはどのような課題があり、その課題に対してどのような解決方法が考えられるかについて、調査結果のまとめや発表の場で意見交換を促す内容とした（第3号）。</p>	<p>p.218-227</p> <p>p.226-227</p> <p>p.226-227</p>
<p><b>4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色</b></p>		
<p><b>(1)個別最適な学びに対応できる教科書</b></p> <p>①教科書全体を通して、QR コンテンツを充実させ、個別最適な学びに対応できるようにした。</p> <p>②身近な事象や興味・関心がある事象を題材にして学習できるよう、2部1章では「<b>選択事例</b>」を設けた。</p> <p><b>(2)すべての生徒に読みやすい教科書</b></p> <p>①色覚に特性のある生徒でも識別しやすい色を使うよう配慮した。</p> <p>②本文や側注、キャプションなどの文字については、はっきりと読み取ることができるユニバーサルデザインフォント(UD フォント)を使用した。</p> <p><b>(3)環境に優しい素材と堅牢な造本</b></p> <p>①造本においては、環境に配慮し、かつ鮮明に発色し、裏写りがしない用紙を使用した。</p> <p>②インキには、再生産が可能な植物由来の油などを原料とするインキを使用した。</p> <p>③使用期間中に破損することがないように、堅牢なつくりにした。</p>		

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
106-100	高等学校	地理歴史科	地理総合	
番号・略称	記号・番号	教科書名		
46 帝国	地総 046-901	高等学校 新地理総合		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

●グローバル化する現代世界の姿をとらえた上で、主体的に社会に参画し、平和で民主的な国家および社会を形成するために必要な資質・能力を育成できる教科書となるよう以下の点に配慮した。

### 1. 世界各地でみられる多様な生活文化を尊重する態度を養える教科書

・2部1章では、世界各地で営まれている多様な生活文化への理解を深められるよう、自然環境や言語・宗教、歴史的背景、産業といった地理的環境と人々の生活の関わりを具体的に扱った「選択事例」を設け、さまざまな生活文化が生まれた背景やその変容を深く学べる構成にした。「選択事例」では、世界の今をとらえられるよう、数多くの地域を取り上げた。

### 2. 現代世界が抱える諸課題の解決に向けて主体的に取り組む態度を養える教科書

・2部2章では、地球的課題に対する世界の現状を、生徒が自分事としてとらえ、主体的に学習し、考えを深めることができるよう、持続可能な社会づくりに向けて他者と協働しながら諸課題に向き合う特設「**アクティブ 持続可能な社会に向けて**」を設けた。

・日本が抱える諸課題への理解を深め、解決に寄与する態度を身につけられるよう、2部2章の地球的課題や、3部1章の自然災害の単元では、日本の事例を重点的に取り上げた。

・3部1章では、持続可能な社会づくりを考える参考として、先人の防災に対する知恵や努力を紹介するコラム「**先人の知恵**」を適宜設けた。

・3部2章では、生徒自身が生活圏にみられる課題を解決できるよう、調査方法を丁寧に解説した。

### 3. 「地理的な見方・考え方」を働かせながら思考力・判断力・表現力を養える教科書

・本書全体にわたって、「場所」や「人間と自然の関わり」などの「地理的な見方・考え方」を働かせながら学習できるように、各節の冒頭には「**節の主題**」を、各項（見開き）の冒頭には「**学習課題**」を設けた。

・「地理的な見方・考え方」を働かせながら学習内容をまとめたり、説明したりする活動を随所で行えるよう、各節末には「**節の振り返り**」を、各項（見開き）末には「**確認**」と「**説明**」のコーナーを設けた。

・写真や図表から地理的な特色をとらえる力を養うことができるよう、導入資料の読み解きを促す「**Q**」や、写真や図表の読み解きを促す「**読み解き**」を設けた。

・地図帳の活用を通して、思考力・判断力を養うことができるよう、各項（見開き）の右下に「**地図帳活用**」のコーナーを随所に設けた。

### 4. 社会で生きる地理的技能を習得できる教科書

・さまざまな地理的技能を身につけられるよう、特設「**SKILL**」を適宜設けた。特に地図や地理情報システムに関わる技能を身につけられる内容を充実させ、習得した技能は3部1章など、随所で活用できるようにした。

### 5. 現代世界の地理的認識を深められる教科書

・地理学習を深められるよう、本書全体にわたって、本文は平易に記述するとともに、本文を補完する「**用語解説**」を随所に設けた。また、自然現象のしくみなどを解説した動画やアニメーションをQRコンテンツとして用意した。

・中学校の学習内容と関連させた学習ができるよう、各項（見開き）の左下に「**中学校との関連**」のコーナーを設けた。

2. 対照表			
図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
<b>1部 地図でとらえる現代世界</b>			
1章 地図と地理情報システム	A (1)		
1節 地球上の位置と時差		p.6-9	1
2節 地図の役割と種類		p.10-26	3
2章 結びつきを深める現代世界	A (1)		
1節 現代世界の国家と領域		p.28-31	1
2節 グローバル化する世界		p.32-42	4
<b>2部 国際理解と国際協力</b>			
1章 生活文化の多様性と国際理解	B (1)		
序説 生活文化の多様性		p.44-45	1
1節 世界の地形と人々の生活		p.46-57	4
2節 世界の気候と人々の生活		p.58-75	6
選択事例 自然①・②		p.76-83	2
3節 世界の言語・宗教と人々の生活		p.84-87	2
選択事例 宗教①・②		p.88-95	2
4節 歴史的背景と人々の生活		p.96-97	1
選択事例 歴史①～③		p.98-109	2
5節 世界の産業と人々の生活		p.110-115	3
選択事例 産業①～③		p.116-134	3
2章 地球的課題と国際協力	B (2)		
序説 地球的課題と持続可能な社会		p.136-137	1
1節 地球環境問題		p.138-147	4
2節 資源・エネルギー問題		p.148-157	4
3節 人口問題		p.158-165	3
4節 食料問題		p.166-171	3
5節 都市・居住問題		p.172-177	3
6節 地球的課題の解決に向けて		p.178-182	2
<b>3部 持続可能な地域づくりと私たち</b>			
1章 自然環境と防災	C (1)		
序説 人々の生活と自然災害		p.184-185	1
1節 日本の自然環境		p.186-189	1
2節 地震・津波と防災		p.190-195	2
3節 火山災害と防災		p.196-201	2
4節 気象災害と防災		p.202-209	2
5節 自然災害への備えと復旧・復興		p.210-216	3
2章 生活圏の調査と地域の展望	C (2)		
1節 生活圏の調査と地域の展望		p.218-227	4
計 70 時間			